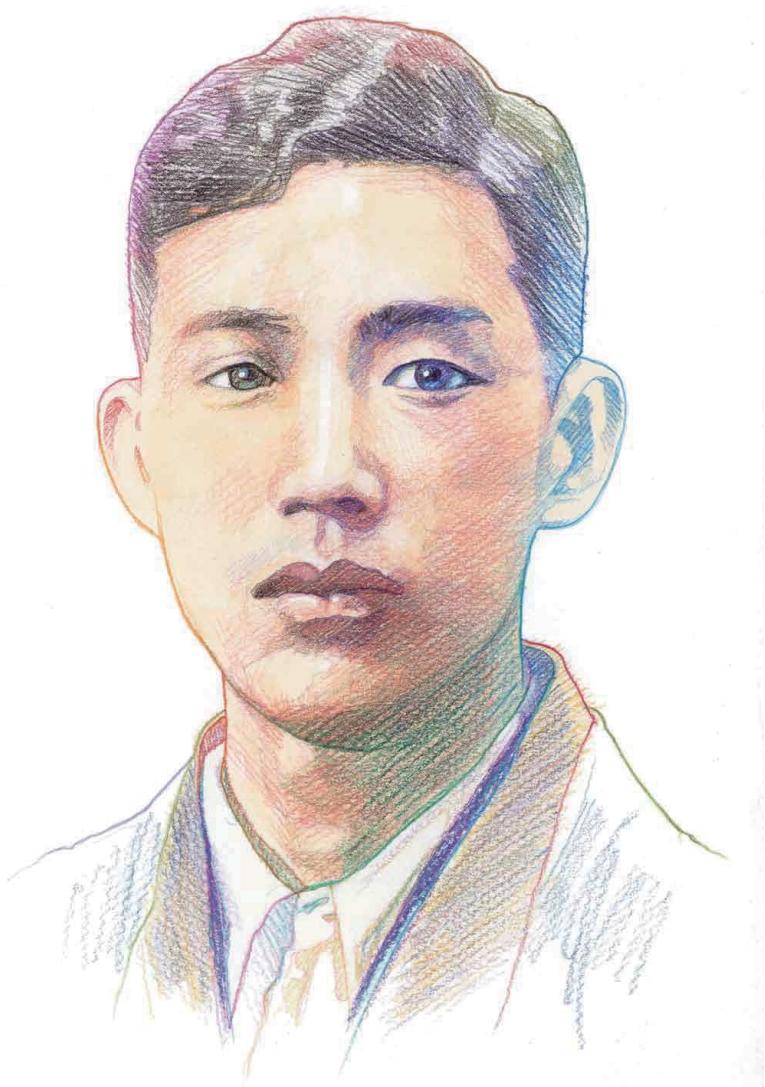


# 夭折の社会詩人 まつおかこうそん 松岡荒村

Matsuoka Kōson



明治 12 年(1879)～明治 37 年(1904)  
八代市生まれ  
詩人、評論家

同志社入学後、洛陽教会員として社会運動に参加。廢娼問題、足尾鉱毒  
問題、貧孤児救済運動に奔走し、「噫狂人田中正造翁」などの演説を行う。  
早稲田大学進学後は社会主義協会に入会、「三つの声」などの社会主義詩  
を発表して新詩人として高い評価を得た。北村透谷の浪漫主義を最もラ  
ジカルに継承した。しかし、従来の無理がたり、肺を患って25歳で夭  
折した。死後、荒村の詩や評論は『荒村遺稿』として刊行された。